



令和5年度 校長だより

令和5年6月8日(木)

春日の風Ⅱ

No.2

文責 松下 義彦

中体連大会・コンクールに臨むにあたり

みなさん、こんにちは。5月に行われた体育会では3年生を中心に各ブロックごとにまとまり、素晴らしい演技を見せくれました。当日参観いただいた来賓の方々からも、「感動しました。」「素晴らしい体育会でした。」等の言葉をたくさんいただきました。学校全体でも一つにまとまり、第70回の記念すべき体育会を見事成功させてくれたと校長先生はうれしく思っています。春日中学校の生徒一人ひとりが全力を出し切り、一つにまとまることで生まれるパワーのすごさを実感することができました。これからも、この力を学校生活の中で活かしていきましょう。

さて、運動部では、6月10日(土)の陸上競技大会を皮切りにいよいよ筑紫区中学校総合体育大会が始まります。また、吹奏楽部もコンクールに向けて、他の文化部も文化発表会へ向けての取組が続くこととなります。3年生にとっては、中学校に入学してから約2年ちょっとの間、この日のために毎日努力をしてきた事だと思います。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で思うような活動ができなかった時期もありますが、どの学校も条件は一緒です。今まで自分たちが練習してきたことを精一杯発揮し、悔いが残らないように全力でプレーしてきてください。

校長先生は、自分自身がプレーヤーとしてあるいは監督として経験してきた上で、スポーツにおいて、最後の最後はやはり技術より人間性やチームワークが勝敗を決すると思っています。

具体的には、

○規則を守る ○仲間を信じる ○相手チームや審判の先生を尊敬する ○全力を尽くす

の4つのことです。この姿をみなさんには期待しています。

また、「参加することに意義がある」という言葉を聞きますが、果たしてそれだけでいいのでしょうか。試合には勝ち負けがつきます。当然参加するからには「勝ち」を目指してほしいと思います。勝つために最善の努力をする。そこに試合に出る意義があるのではないのでしょうか。勝利を求めないでただ試合に参加するだけでは、何も身につかないのではないかと思います。勝利を目指して最善の努力をした、その結果負けたとしても、努力をしたという結果が残ります。これからの人生に役に立つものがきつと残ります。ですから、参加するだけで満足することなく、勝つために最善の努力をして欲しいと思います。最後には、強いチームが勝つのではなく勝ったチームが強いのです。みなさんも、『**為せば成る**』～「強い意志」と「あきらめない心」～の精神をもって、最後まで手を抜くことなく、また、相手がどんなチームであろうと最後まであきらめずにがんばってください。

みなさんの活躍を期待しています。